

Vol. 57に寄せて

11月に入り、ようやく日中でも秋を感じるようになりました。この時期は、冬の足音が聞こえてきそうな冷え込みもあり、気温の変化が激しく体調管理も難しく感じますね。さて、秋の楽しみの1つに紅葉狩りがありますが、綺麗な紅葉には、気温だけでなく湿度や日当たりなど色々な条件が必要となります。毎年、ベンゼン池周辺は鮮やかな紅葉が水面に映えて綺麗ですが、異常気象と言われ秋がとても短い今年でも、綺麗な紅葉が見られることを願っています。



11月に見頃を迎える植物：リンドウ（リンドウ科）

和名：リンドウ（別名ササリンドウ）

学名： *Gentiana scabra* Bunge

var. *buegeri* (Miq.) Maximowicz

薬用部：根、根茎

生薬名：竜胆（リュウタン）

用途：苦味健胃、消炎（漢方薬）

栽培場所：1号園

開花時期：10-11月



リンドウについて

本州、四国、九州に分布し、山地や丘陵地に生える多年草である。リンドウという名は、種々のリンドウの総称としても用いられ、区別するため、本種はササリンドウの別名を持つ。草丈20～90 cm、葉は対生し茎を抱き、長さ3～10 cm、披針形で先は尖る。秋に茎頂または上部の葉腋に1～数個の花をつける。花は先が五裂した筒状をしており、裂片の間に副花冠がある。これは*Gentiana*属の特徴とされている。花色は青～青紫～赤紫で、稀に白色が見られる。花が開くのは日の当たる時で、夜間や雨天時には閉じている。花の内部には紫褐色の斑があり、花を訪れる昆虫に蜜のありかを示す蜜標と考えられている。花は両性花で、雄しべ5本と雌しべ1本を有するが、自家受粉を防ぐために雄しべが花粉を出し終わってから、雌しべが成熟して柱頭が2つに分かれる雄性（雄蕊）先熟*の仕組みを持つ。

竜胆について

日本薬局方収載の生薬で、神農本草経では上品に収載される。局方の基原植物はトウリンドウ（*G. scabra*）、*G. Manshurica*、*G. triflora*である。トウリンドウは中国、朝鮮半島などに分布するが、今回取り上げた日本に分布するリンドウは、トウリンドウの変種とされる。リンドウを原植物として用いることは可能であるが、実際の産出量は少ない。生薬は、秋に採集し地上部を除いて水洗後、根を整形して調製される。苦味成分であるセコイリドイド配糖体のゲンチオピクロシドなどを含み、苦味健胃薬として用いられるほか、漢方では炎症を抑える目的で、一般漢方294処方中、竜胆瀉肝湯、疎経活血湯など4処方に配合される。



11月に見頃を迎えるその他の植物 <科名はAPG分類体系による>



ヨモギ（キク科）

生薬名：艾葉（ガイヨウ）

薬用部：葉、枝先

効能：止血、抗炎症など



カワラヨモギ（キク科）

生薬名：茵陳蒿（インチンコウ）

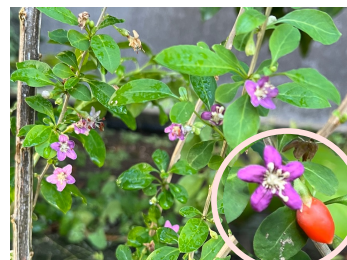
薬用部：頭花

効能：抗炎症、黄疸を主治



ミヨヨモギ（キク科）

回虫駆除薬サントニンを含むことから日本に輸入され、栽培地の壬生に因んで名付けられた。



クコ（ナス科）

生薬名：果実：枸杞子（クコシ）

根皮：地骨皮（ジコ皮皮）

効能：滋養強壮



チャノキ（ツバキ科）

生薬名：茶葉（チャヨウ）

薬用部：葉

効能：疲労回復、利尿



シャクチリンソバ（タデ科）

生薬名：赤地利（シャクチリ）

薬用部：地上部、根茎、根

効能：血圧降下、民間で血管強化



トウガラシ（ナス科）

生薬名：蕃椒（トウガラシ）

薬用部：果実

効能：辛味性健胃薬、皮膚刺激薬



ラッキョウ（ヒガンバナ科）

生薬名：薤白（ガイハク）

薬用部：鱗茎

効能：健胃、鎮痛など

